

第4次総合計画進捗状況調査結果一覧 (令和7年度実施)

南伊勢町

調査票① 第4次南伊勢町総合計画施策目標及び達成状況

施策番号	施策名	施策の目標	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
111	商工業の持続化と雇用の促進	ふるさと納税の寄付額	目標値					350,000千円				500,000千円
			現状値・実績値	192,395千円	163,374千円	156,842千円	160,781千円					
112	地域資源を活かした観光の魅力創造と賑わいと交流の場の創出	観光入込客数	目標値					250,000人				300,000人
			現状値・実績値	190,630人	194,327人	256,252人	247,073人					
113	活気ある水産業の実現	新規漁業就業者受入経営体数	目標値					3経営体/年				3経営体/年
			現状値・実績値	3経営体/年 4経営体/年	8経営体/年 5経営体/年	16経営体/年 5経営体/年	2経営体/年					
114	魅力ある農林業の実現	新規認定農業者数	目標値					1人/年				1人/年
			現状値・実績値	0人/年	1人/年	1人/年	1人/年					
211	災害に強いまちの確立	防災訓練参加率の向上	目標値					40.0%				50.0%
			現状値・実績値	27.0% ※参考 令和3年度中止のため令和2年度	33.60%	30.30%	32.60%					
212	治山・治水・海岸の保全	河川の水位観測が可能な河川の状況	目標値					14河川				18河川
			現状値・実績値	11河川	14河川	17河川	17河川					
213	水道の安定供給	水道有収率	目標値					68.7%				68.9%
			現状値・実績値	67.5%	68.0%	68.1%	68.3%					
214	交通と生活の安全安心対策	交通事故発生件数の減少	目標値					15.3%				15.0%
			現状値・実績値	15.4%	17.90%	17.30%	18.70%					
221	住環境の整備	「暮らしやすい住まいと住環境がある」と回答した人の割合(20～44歳)アンケート結果	目標値					25.0%				30.0%
			現状値・実績値	22.0%	未調査	17.5%	21.9%					
222	道路基盤の整備	国道260号における町内全体の移動時間の短縮(累計)	目標値					1分				5分
			現状値・実績値	0分	0分	0分	0分					
223	交通手段の充実	バス利用者数	目標値					53,550人				53,550人
			現状値・実績値	44,458人	42,469人	38,840人	35,277人					
224	生活排水対策の推進(持続可能な生活排水対策)	汚水処理人口普及率	目標値					79.4%				80.6%
			現状値・実績値	78.1%	78.8%	78.9%	79.5%					
225	生活環境の保全と環境美化	1人1日当たりのごみ排出量【g/人日】	目標値					971g				947g
			現状値・実績値	996g (令和2年度数値)	845g (令和4年度数値)	759g(917g) (令和5年度数値)	897g (令和6年度数値)					

施策番号	施策名	施策の目標	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
226	社会保障の健全な運営	国民健康保険特定健康診査受診率	目標値					50.0%				60.0%
			現状値・実績値	36.7%	39.2%	39.5% (速報値)	39.3% (速報値)					
311	子育て支援の充実	南伊勢町で子育て施策が充実していると感じている人の割合(20～44歳)	目標値					60.0%				70.0%
			現状値・実績値	43.1%	46.0%	43.0%	43.4%					
312	若者定住・移住対策の推進	18～44歳の年代の町の制度を使った移住者数	目標値					15人				15人
			現状値・実績値	13人	24人	10人	10人					
313	学校教育の充実と環境整備	児童生徒へのアンケートにおいて「自ら積極的に地域に関わり、地域への関心や理解を深めることができた。」と回答した割合	目標値					85.0%				90.0%
			現状値・実績値	81.0%	86.50%	85.90%	96.66%					
314	地域での青少年の健全育成	子どもたちが活動できるイベントの参加人数	目標値					200人				200人
			現状値・実績値	45人	45人	261人	209人					
313	生涯学習の充実	生涯学習講座受講者数	目標値					250人				300人
			現状値・実績値	207人	154人	156人	103人					
412	芸術文化の振興と伝統文化の継承	資料館(愛洲の館・東宮資料保存館)の来館者数	目標値					1,380名				1,430名
			現状値・実績値	1,330名	1,049人	1,482人	1,586人					
413	多様な人材の活躍	審議会等への女性委員の登用割合	目標値					40.0%				40.0%
			現状値・実績値	26.6%	29.4% (4年当初)	31.9% (5年当初)	31.1% (6年当初)					
414	支えあう地域福祉の推進	困ったときに家族以外で支えてくれる人がいると感じる町民の割合	目標値					67.0%				70.0%
			現状値・実績値	64.3%	69.5%	66.2%	64.4%					
415	高齢者福祉の充実と地域包括ケアの推進	町内の介護サービス事業所における従業者数	目標値					560人				572人
			現状値・実績値	540人	547人	531人	477人					
416	障がい者の生活環境づくり	就労支援事業所への通所者数	目標値					70人				74人
			現状値・実績値	66人	70人	78人	64人					
421	健康づくりの推進	健康マイレージの参加率	目標値					10.0%				12.0%
			現状値・実績値	7.2%	12.0%	7.0%	7.2%					

施策番号	施策名	施策の目標	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
511	私たちが主役のまちづくりの推進	「オール南伊勢」のまちづくりができていると感じている町民の割合	目標値					50.0%				70%
			現状値・実績値	20.5%	22.6%	28.3%	26.0%					
512	まちのプロモーション	町公式SNS フォロワー数	目標値					6,000人				7,000人
			現状値・実績値	4,600人	6,203人 (R5.3.1現在)	8,400人 (R6.4.19現在)	12,326人 (R7.3.31現在)					
513	自然環境の保全と脱炭素・循環型社会の形成	ごみの資源化率	目標値					18.09%				18.29%
			現状値・実績値	12.60% (令和2年度数値)	12.39% (令和4年度数値)	14.70% 15.04% (令和5年度数値)	14.97% (令和6年度数値)					
514	総合計画の実現と時代やニーズに応じた取り組みの加速	総合計画の達成割合	目標値					80.0%				90.0%
			現状値・実績値	-	32.3%	38.7%	32.3%					
521	効果的で信頼される自治体経営	「役場が町民目線、町民の立場に立っている」と感じている町民の割合	目標値					50.0%				60.0%
			現状値・実績値	40.1%	40.7%	41.7%	39.5%					
522	健全な財政運営	早期健全化基準未滿	目標値					早期健全化基準未滿				早期健全化基準未滿
			現状値・実績値	実質公債費比率10.2 将来負担比率69.5 (早期健全化基準未滿) 【令和2年度数値】	実質公債費比率10.6 将来負担比率54.9 (早期健全化基準未滿) 【令和3年度数値】	実質公債費比率10.7 将来負担比率48.8 (早期健全化基準未滿) 【令和4年度数値】	実質公債費比率11.3 将来負担比率55.3 (早期健全化基準未滿) 【令和5年度数値】					

調査票②

調査票② 第4次南伊勢町総合計画重点プロジェクトの目標及び達成状況

活力ある産業・経済プロジェクト

回答部署	指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
まちづくり推進課	目標達成に向けて役場が取り組んでいると感じる町民の割合	目標値					70%
		現状値・実績値	未実施	19.9%	22.5%	18.9%	
まちづくり推進課	目標が達成できていると感じる町民の割合	目標値					50%
		現状値・実績値	未実施	12.4%	14.0%	12.4%	
観光商工課	ふるさと納税寄付額	目標値					350,000千円
		現状値・実績値	192,395千円	163,374千円	156,842千円	160,781千円	
観光商工課	南伊勢町の支援制度により起業した事業所数 (R4~R7累計)	目標値					12事業所
		現状値・実績値	2件	3件	5件	5件	

安全安心のまちプロジェクト

回答部署	指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
まちづくり推進課	目標達成に向けて役場が取り組んでいると感じる町民の割合	目標値					70%
		現状値・実績値	未実施	37.0%	34.9%	32.1%	
まちづくり推進課	目標が達成できていると感じる町民の割合	目標値					50%
		現状値・実績値	未実施	27.0%	25.1%	25.2%	
建設課	町管理橋梁の耐震化率 ①橋長15m以上の橋梁 ②全橋梁	目標値					①39.68% ②12.09%
		現状値・実績値	①36.51% ②10.78%	①36.51% ②10.78%	①36.51% ②10.78%	①36.51% ②10.78%	
環境生活課	バス利用者	目標値					53,883人
		現状値・実績値	44,458人	42,469人	38,840人	35,277人	

調査票②

子育て応援プロジェクト

回答部署	指標	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
まちづくり推進課	目標達成に向けて役場が取り組んでいると感じる町民の割合	目標値					70%
		現状値・実績値	未実施	46.2%	42.7%	38.5%	
まちづくり推進課	目標が達成できていると感じる町民の割合	目標値					50%
		現状値・実績値	未実施	37.5%	33.2%	31.8%	
まちづくり推進課	年間出生数	目標値					34人
		現状値・実績値	32人（R2年度数値） 37人（R3年度数値）	26人（R4年度数値）	30人（R5年度数値）	26人（R6年度数値）	
まちづくり推進課	町の支援制度（新築及び中古住宅取得支援補助金）を使った住宅整備世帯数（R4～R7累計）	目標値					72世帯分
		現状値・実績値	17世帯分（R3年度実績）	23世帯	30世帯	37世帯	

誰もが元気なまちプロジェクト

回答部署	指標	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
まちづくり推進課	目標達成に向けて役場が取り組んでいると感じる町民の割合	目標値					70%
		現状値・実績値	未実施	42.7%	38.7%	35.6%	
まちづくり推進課	目標が達成できていると感じる町民の割合	目標値					50%
		現状値・実績値	未実施	32.3%	31.1%	30.8%	
まちづくり推進課	困ったときに家族以外で支えてくれる人がいると感じる町民の割合	目標値					67%
		現状値・実績値	64.3%	69.5%	66.2%	64.4%	
まちづくり推進課	多くの町民の方が交流できる憩いの場が増えたと感じる人の割合	目標値					70%
		現状値・実績値	未実施	28.0%	35.1%	35.6%	

調査票②

輝きをもてるまちプロジェクト

回答部署	指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
まちづくり推進課	目標達成に向けて役場が取り組んでいると感じる町民の割合	目標値					70%
		現状値・実績値	未実施	24.6%	26.4%	23.0%	
まちづくり推進課	目標が達成できていると感じる町民の割合	目標値					50%
		現状値・実績値	未実施	18.4%	19.1%	20.9%	
まちづくり推進課	「オール南伊勢」のまちづくりができていると感じている町民の割合	目標値					50%
		現状値・実績値	20.5%	22.6%	28.3%	26.0%	
まちづくり推進課	南伊勢町は住みやすいまちだと思う町民の割合（20歳～44歳）	目標値					70%
		現状値・実績値	56.5%	50.4%	56.6%	57.9%	

買い物不便・困難対策プロジェクト

回答部署	指標		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
まちづくり推進課	目標達成に向けて役場が取り組んでいると感じる町民の割合	目標値					70%
		現状値・実績値	未実施	43.0%	44.2%	43.3%	
まちづくり推進課	目標が達成できていると感じる町民の割合	目標値					50%
		現状値・実績値	未実施	36.2%	35.2%	36.8%	
まちづくり推進課	日頃買い物に不便でないと感じる町民の割合（44歳以上）	目標値					70%
		現状値・実績値	未実施	61.5%	55.3%	49.7%	
まちづくり推進課	買い物不便・困難対策として令和4年度以降新たに取り組んだ事業	目標値					6事業
		現状値・実績値	未実施	4事業	6事業	6事業	

プロジェクト名

1. 活力ある産業・経済プロジェクト

総合計画記載内容				施策の担当課	番号	令和6年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	今後の取組方針
分野	取組みの名称	内容	施策名				
1 稼ぐ 力を 育む	稼げる水産業・担 い手づくりスター トアップ事業	持続可能な水産業の実現のための水産業の担い手 不足解決に向けたチームの立ち上げ、水産業の求 人情報の発掘と発信、漁師希望者の受入態勢の整 備に取り組みます。	113活気ある水 産業の実現	水産農林課	1-1-1	地域おこし協力隊制度、集落支援員制度を活用 し町内の水産業や漁業者への聞き取りを実施。 一般社団法人フィッシャーマンジャパンに委託 し、漁業就業者の確保や後継者育成等、水産業 全体のプロモーションを行った。	後継者・担い手育成事業だけではなく、 水産資源管理や水産物流通促進に関わる 取組みも進めていきます。
	拠点漁港再編整備	持続可能な漁業生産に向け、県下一の水揚げ量を 誇る奈屋浦漁港を中心とした漁港・水産関連 施設の海業用地の整備を含めた再編・強化や災害 リスク対応力強化に取り組みます。	113活気ある水 産業の実現	水産農林課	1-1-2	奈屋浦漁港の再編整備事業が本格的に始まり、 耐震岸壁、係留施設、輸送施設、用地等の測量 設計を行った。	県・町・三重外湾漁業協同組合による工 事計画・工程等、また、負担金割合の協 議を進めていきます。
		流通機能の強化に向け、高度衛生管理に対応した 荷捌き所等の一体的な整備に取り組みます。	113活気ある水 産業の実現	水産農林課	1-1-3	奈屋浦漁港の再編整備事業が本格的に始まり、 耐震岸壁、係留施設、輸送施設、用地等の測量 設計を行った。	県・町・三重外湾漁業協同組合による工 事計画・工程等、また、負担金割合の協 議を進めていきます。
	柑橘団地の造成	高い品質と安定した量のミカンが生産できること と、働きやすさ、そして後継者の育成等をつなが て、南伊勢町のミカンのブランド力を支える基盤 整備として、営農環境を格段に改善した柑橘団地 を造成します。	114魅力ある農 林業の実現	水産農林課	1-1-4	生産者や担い手と、園地の整備方法について話 し合いの場を設け、検討を行った。	県・町・JA・生産者とともに樹園地団地 の整備場所の選定を行っていきます。
	ふるさと納税拡充 による町内産品の 販路拡大	ふるさと納税の周知方法や販路としての有効活用 方法を町内事業者とともに検討し、取り組む 体制をつくります。	111商工業持続 化と雇用の促進	観光商工課	1-1-5	令和7年10月からの制度のルール変更（仲介 サイトからのポイント付与禁止）と、町が業務 委託している中間事業者が令和7年4月から変更 になる点について、3月11日に事業者向け説明 会を開催した。	随時、説明会を開催していきます。
	産業 ICT 化支援 と通信環境整備	スマート農林水産業をはじめとした各種分野にお けるICT 導入を促進します。	113活気ある水 産業の実現	水産農林課	1-1-6	漁業者へ利用者アンケートを実施し、水産業ス マート化推進支援事業を利用し、リースではな く10台の「うみログ」を購入し、各海域に設置 した。	水産庁のスマート化推進支援事業（漁協 申請2/3）に申請し、漁協所有のもと継 続した利用を進め、町の海況調査との連 携を図っていきます。
			114魅力ある農 林業の実現	水産農林課	1-1-7	ICTによる農林業の省力化事業について、農業者 と課題を検討した。	今後、ICT導入に向けて検討を行って いきます。

		ICT化に伴い必要となる通信環境の更なる向上に努めます。	514総合計画の実現と時代やニーズに応じた取組みの加速	まちづくり推進課	1-1-8	引き続き、県等を通じ携帯電話通信エリアの改善の要望を実施。 エリア拡大を確認はできなかった。	引き続き、県等を通じ携帯電話通信エリアの改善に取り組んでいきます。光回線の2路線整備についても、今後の事業基盤整備と合わせ検討していきます。
その他の取組み	農林水産業スタートアップ支援の実施		113活気ある水産業の実現	水産農林課	1-1-9	1-1-1と同じ	1-1-1と同じ
			114魅力ある農林業の実現	水産農林課	1-1-10	一次産業後継者として3名を採用し、一次産業就農者確保のための支援を行った。	今後、4事業者への採用を目指して引き続き取組みを進めていきます。
	森林譲与税を活用した森林整備	114魅力ある農林業の実現	水産農林課	1-1-11	森林の経営管理集積計画を策定した。	経営管理集積計画に基づき、森林整備を進めていきます。	
計画策定以降の新規取組み					1-1-12		

総合計画記載内容				施策の担当課	番号	令和6年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	今後の取組方針
分野	取組みの名称	内容	施策名				
2	まちの賑わいと活力を生み出す拠点づくり	ふれあい・交流・賑わいの場の創出やまちの産業の活性化につながるまつりを開催します。	112地域資源を活かした観光の魅力創造と賑わいと交流の場の創出	観光商工課	1-2-1	令和6年度については海づくり大会のプレイベントと同時開催するため補助金予算を水産農林課に移管した。イベント自体は強風のため開催を中止した。	令和6年度は補助金予算を水産農林課に移管しましたが、令和7年度にはまちづくり推進課に移管します。イベントは一連の海づくり大会関連行事のフィナーレと位置づけ、実行委員会事務局として観光商工課、水産農林課、まちづくり推進課、総務課が緊密に連携し、円滑な運営に努めてまいります。また、「海づくり大会」本大会とは日程をずらして開催いたしますので、詳細が決まり次第、改めて町広報誌やウェブサイト等でお知らせいたします。
			登山道の整備	観光商工課	1-2-2	令和6年度に予定していた龍仙山の整備については、町内におけるツキノワグマ出没(8月)などのため実施を見合わせており、登山マップ等の配布にとどまった。	令和7年度は予算未計上としました。観光協会による登山キャンペーンについても実施予定なしとしています。

く り	その他の取組み	国道260号線沿いの観光トイレの改修等の観光利便性向上の取組み	112地域資源を活かした観光の魅力創造と賑わいと交流の場の創出	観光商工課	1-2-3	「南伊勢町観光トイレ設置条例」の改正および「南伊勢町公衆トイレ設置条例」の制定により観光トイレと公衆トイレの違いを明確化した。また、トイレの整備計画に基づき「贅浦公衆トイレ」の改修を実施した。	改定した観光トイレの整備計画に基づき、事業を実施していきます。
		農林水産物等の直販施設整備の検討	113活気ある水産業の実現	水産農林課	1-2-4	サウンディング調査結果や関係機関への聞き取り、商工業者や農林漁業者の現状と課題を洗い出し、今後の方向性について検討を行った。	町として、観光資源の魅力化や商工業の持続化に加え、海業振興、インバウンド、ふるさと納税、買い物対策等、産業全体の計画を検討していく必要があります。また、水産業施設の基盤整備（市場再編や加工・冷凍施設整備、その他付随施設の環境整備等）や園地整備等の事業と連携して進めていく必要があります。各種団体や事業者の機運を高めていけるよう協議を重ね、『オール南伊勢』として足並みを揃えていくことの重要性を踏まえ、再検討を進めていきます。
			114魅力ある農林業の実現	水産農林課	1-2-5		
	計画策定以降の新規取組み				1-2-6		

総合計画記載内容				施策の担当課	番号	令和6年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	今後の取組方針
分野	取組みの名称	内容	施策名				
3 働 き が い が	多様な人材の雇用機会の均等		413多様な人材の活躍	環境生活課	1-3-1	男女共同参画連携映画祭を開催し、共同参画についての啓発を行った。来場者は110名だった。8月31日に予定していた人権講演会は、台風接近により中止した。人権擁護委員と連携し、特設人権相談所の開設や保育園にて個性についての理解推進のための人権教室を開催した。	男女共同参画センター等関連団体と連携し、映画祭等のイベントや講演会を開催するなど、引き続き男女共同参画の推進を行っていきます。人権問題に関する正しい理解、認識を得られるための啓発活動や情報提供を今後も継続して進めていきます。
	障がい者の生活環境づくり	障がい福祉サービス事業所の移転等を支援します。	416障がい者の生活環境づくり	子育て・福祉課	1-3-2	支援センターかもめは建築工事が完成し、8月末に完成した。かえで作業所は補助金交付済で、旧穂原園の改修工事が完了した。	かえで作業所については、元作業所の財産処分および引越し作業を継続して支援していきます。

調査票③-1 「各重点プロジェクトの取組みの実施結果と今後の取組み方針」

も て る 社 会	おしごとアドバイザー等による若者定住支援		312若者定住・移住対策の推進	まちづくり推進課	1-3-3	移住定住コーディネーター（おしごとアドバイザー）のもと、Facebook上に南伊勢町のお仕事情報掲示板である『おしごとバンク』を運営した。正社員の募集や子育てママさんが保育園に預けている時間帯に働ける求人など、多様な求人掲載を実現し、採用にもつながった。会員数は207人、事業者募集数は41社、採用数は20人だった。	Facebookの取り扱い等が困難な事業者様にはサポートを継続し、募集事業者数を増やしていくことで、様々なニーズに合った仕事を選べるようにしていきます。
	計画策定以降の新規取組み				1-3-4		

総合計画記載内容				施策の担当課	番号	令和6年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	今後の取組方針
分野	取組みの名称	内容	施策名				
4 新 た な 産 業 を	地域資源を活かした観光商品の開発		112地域資源を活かした観光の魅力創造と賑わいと交流の場の創出	観光商工課	1-4-1	隣接する玉城町および度会町と連携する「サニーロード誘客促進実行委員会」により、南部地域活性化基金事業を活用しサイクルルート動画制作、サイクルルートマップ制作、バイシクルピット整備、ライドイベントを実施。サイクルルートという新たな視点で地域の魅力を資源化・発信した。	引き続き町内の魅力を資源化し活用していきます。令和7年度は南部地域活性化基金事業を活用し、『南伊勢の星空』に焦点を当てた地域資源の開発に取り組んでいきます。
	地域特性に即した企業誘致		111商工業持続化と雇用の促進	観光商工課	1-4-2	創業支援事業補助金は認定事業数が3計画、特産品開発支援補助金は交付が1商品だった。	創業支援・特産品開発支援とともに、令和7年度も継続して実施していきます。
			113活気ある水産業の実現	水産農林課	1-4-3	水産多面的協議会（7地区）による各漁場の藻場再生に向けた食害生物の駆除や母藻の設置等を支援した。	国や県に補助金の拡充を要望し、町単独補助である漁場環境整備補助金の内容を精査していきます。
			114魅力ある農林業の実現	水産農林課	1-4-4	森林譲与税を活用し、森林経営管理制度に基づく業務支援を行った。	森林譲与税等を活用し、森林整備を進めていきます。

調査票③-1 「各重点プロジェクトの取組みの実施結果と今後の取り組み方針」

生 み 出 す	カーボンニュートラル実現に向けた産業政策の推進		513自然環境の保全と脱炭素・循環型社会の形成	環境生活課	1-4-5	鳥羽志勢広域連合やまだエコセンターでの可燃ごみの処理のため、2,884.08 t/年の搬入を行った。搬入した可燃ごみはサーマルリサイクルの原料として活用された。また、同センターまでの運搬距離延長に伴う塵芥収集車（パッカー車）の燃料費等の経費増加については、収集車両の連携や収集ルートの変更などにより搬入台数を減らし、燃料費等の経費削減に努めた。	脱炭素、温暖化防止対策の推進事業として町内街路灯のLED化、電気自動車用急速充電設備を維持し、3R+等の取り組みによる廃棄物の資源循環を継続するなど、これまでの取り組みを継続していきます。また、鳥羽志勢広域連合および構成自治体と協力し、今後の対策を検討するため、循環型社会形成推進地域計画の広域版計画の策定に関して関係者等と協議を進めていきます。
	計画策定以降の新規取組み				1-4-6		

プロジェクト名

2. 安全安心のまちプロジェクト

総合計画記載内容				施策の担当課	番号	令和6年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	今後の取組方針
分野	取組みの名称	内容	施策名				
生活の安全・安心対策の推進	新型コロナウイルス感染症流行の影響や国際情勢の変化等による物価高騰などの影響を受ける生活者や事業者への支援	新型コロナウイルス感染感染症対応臨時交付金事業以外の取組み	111,113,114,313,415,416他	まちづくり推進課	2-1-1	国の交付金を活用し、低所得世帯向けの給付金、プレミアム商品券を行い物価高騰などの影響を受ける生活者や事業者へ支援を行うことができた。	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金をもとにした不足額給付などが継続していることから、引き続き支援策を継続していきます。また、国の新たな経済対策が示された場合は迅速に予算化し、早急な生活支援に努めていきます。
	その他の取組み	防犯意識の高揚と防犯ネットワークの構築、消費生活に関する啓発と相談の充実	214交通と生活の安全安心対策	防災安全課	2-1-2	死亡事故発生時、コンビニやスーパー前での交通安全の啓発活動を実施した。	近隣市町と情報共有し、連携を密に防犯や交通安全対策を働きかけます。また、青色回転灯装着車による町内パトロールを実施していきます。
	計画策定以降の新規取組み					2-1-3	

総合計画記載内容				施策の担当課	番号	令和6年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	今後の取組方針
分野	取組みの名称	内容	施策名				
生命の保護、まちの最小化の重要な機能	南海トラフ巨大地震への対応	避難所、避難場所等の施設の整備や保育所、障がい者施設等の高台移転、関係機関との連携強化や応援体制の整備を促進します。	211災害に強いまちの確立	防災安全課	2-2-1	一次避難場所および避難道の修繕・整備を実施しました。(一次避難場所：五郎坂他9箇所)	地理的条件により避難に時間がかかる地域への津波避難タワー等の整備を行います。また、避難所運営についても応援体制の整備を推進していきます。
			311子育て支援の充実	子育て・福祉課	2-2-2	なかよし園開所に向け、4月末の実施設計完了後建築工事を行い、令和7年3月19日に完成し、令和7年3月22日に竣工式を行なった。	なかよし園高台移転に伴い、中学校と共同し防災対策に取り組みます。
			416障がい者の生活環境づくり	子育て・福祉課	2-2-3	支援センターかもめは建築工事が完成し、8月末に完成した。かえで作業所は補助金交付済で、旧穂原園の改修工事が完了した。	かえで作業所については、元作業所の財産処分および引越し作業を継続して支援していきます。
			デジタル技術を活用した情報収集や住民への情報提供等、効果的・効率的な防災対策に取り組めます。	防災安全課	2-2-4	昨年に引き続き、新たな3箇所に防犯カメラの設置を行った。	設置箇所を検討し、計画的に増設していきます。
	その他の取組み	配水池及び浄水場の災害対策も含めた施設更新個所の検討及び決定	213水道の安定供給	上下水道課	2-2-5	配水池及び浄水場の水道施設更新の計画に従い実施をした。	地方公営企業として適正な水道料金の維持と健全な経営に努め、計画的に配水池および浄水場の水道施設更新の検討および決定を実施していきます。

社 持 、 被 害	国道260号道路改良に伴う 上下水道管布設替工事の実施	213水道の安定 供給	上下水道課	2-2-6	国道260号道路改良に伴い、各年度毎に対象となる 箇所の上水道管布設替工事を実施しています。	国道260号道路改良の進捗に応じ、各 年度ごとに対象となる箇所の上水道管布 設替工事を実施していきます。
	計画策定以降の新 規取組み			2-2-7		

総合計画記載内容				施策の担当課	番号	令和6年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	今後の取組方針
分野	取組みの名称	内容	施策名				
3 生 活 基 盤 の 取 組	生活道路の整備	安全安心に生活できるよう道路改良、橋りょうの 耐震化長寿命化など生活道路をはじめとし たインフラ整備を推進していきます。	222道路基盤の 整備	建設課	2-3-1	各施設の点検を実施し、個別施設計画、長寿命化 計画に基づき、修繕工事を実施した。	継続して点検、修繕計画の見直しを適宜 実施していきます。
	町内公共交通機関 の利便性の向上	巡回バスモデル事業など、地域の実情に応じた交 通手段の確保やバス利用環境の整備・改善 に取り組めます。	223交通手段の 充実	環境生活課	2-3-2	南勢地区では、令和5年度から継続し、切原中津浜 実証モデル事業を実施したが、利用者数は伸び ず、本格運行には至らなかった。この事業で得た 利用者データ等は、今後の公共交通の再構築に向 けた運行形態の検討に活用していく。公共交通の バリアフリー化を目的に、道方バスセンターに多 目的トイレを設置した。この取り組みは、国土交 通省の公共交通機関の待合所における環境改善事 業との整合性が取れており、県からの補助金を受 けて実施した。名古屋大学と連携し、地区懇談会 や住民アンケート調査、町営バス乗降調査を実施 し、地域公共交通の再構築・地域公共交通計画の 改定を目的にデータ整理を行った。	三重交通株式会社が運行する宿浦線が4便 減便されたことに伴い、宿田曾エリアの 広域幹線の利便性が著しく低下していま す。このことを受け、宿田曾エリアで交 通空白地自家用有償運送事業を展開して いるNPO法人わがらと連携し、交通空 白時間帯における五ヶ所バスセンターま での有償運送事業を実施します。これに より、減便された宿浦線の補完的役割を 担い、五ヶ所バスセンターから伊勢市駅 への運行を行う五ヶ所線に接続する事業 を実施していきます。
	若者定住団地の整 備	若者が安心して暮らせる高台の住宅用地を提供し ます。	221住環境の整 備	管財契約課	2-3-3	船越高台住宅用地の造成を行い、4区画が整備さ れ、分譲に向けて測量も行った。	船越高台住宅の利用地を整備し、売却等 に努めていきます。
	公園の充実	「憩い」・「遊び」・「体力づくり」の場とし て、いつでも気軽に利用できる魅力ある公園にし ていきます。	221住環境の整 備	管財契約課	2-3-4	古和浦ふるさと公園の遊具改修を行った。愛洲の 里公園の老朽化した遊具の撤去を行った。獣害対 策のため、大江公園のフェンスの改修を行った。	公園施設の点検、更新修繕や活用状況に 応じて、整備方法を更新していきます。
		自主運行バスの運賃適正化	223交通手段の 充実	環境生活課	2-3-5	町営バス、デマンドバスの運賃や、乗継ぎ時の割 引について協議を重ねたが、ダイヤ再編中であ り、抜本的な見直しができなかった。 新設路線やダイヤ改正時の運賃設定は順次実施し ている。	引き続き、運賃の適正化、運賃がわかり にくい距離制からゾーン制への転換など を協議し、運賃の見直しに取り組んでい きます。
		水洗化補助金の新設	224生活排水対 策の推進（持続 可能な生活排水 対策）	上下水道課	2-3-6	令和6年度の実施結果は、下水道が5件、浄化槽が5 件で、水洗化率の向上につながった。	水洗化を促進するための施策として、水 洗化補助金の交付を継続して行っていき ます。

整備による地域と経済の活性化や平時からの災害への備え	その他の取組み	浄化槽長寿命化計画の策定	224生活排水対策の推進（持続可能な生活排水対策）	上下水道課	2-3-7	維持管理計画に基づいて、修繕を実施した。	策定した計画を基に、国の補助金等を活用しながら、浄化槽の適正な維持管理を行っています。
		共同浄化槽の設置促進	224生活排水対策の推進（持続可能な生活排水対策）	上下水道課	2-3-8	アンケート結果や関係自治会からの意見をもとに、事業化について問題点を洗い出しながら、実施の可否について検討中である。	今後も継続して情報収集を行い、全国でも事例が無い理由等についても、十分に考慮しながら、事業実施について検討していきます。
		新たなごみ処理体制の構築	225生活環境の保全と環境美化	環境生活課	2-3-9	●公衆衛生の向上 町のクリーン作戦4回の実施と町内の19団体によるボランティア清掃活動などを通じ、町内の公衆衛生が図られた。 町内ボランティア団体の清掃活動によるごみは処理手数料を免除する等、ボランティア清掃に参加しやすい環境づくりに努めた。 ●ごみ処理体制の充実 鳥羽志勢広域連合やまだエコセンターにて一般廃棄物の広域処理を行い、南伊勢町分の可燃ごみ2884.080tのサーマルリサイクルが行われた。また、資源ごみ410.420tの処理が行われた。また、リユース品の活用促進を図るための協議を行った。 ●特定空家等の適正な管理の促進 南伊勢町空家等対策協議会を開催し、新たに4件の空家が特定空家等として認定された。所有者等に指導・勧告を行い、2件の補助金交付、1件の行政代執行を実施し、計3件の特定空家等が除却された。 ●不法投棄防止対策の強化 不法投棄防止対策として見せる化による不法投棄の発生抑制のため、新たに不法投棄防止看板及	●公衆衛生の向上 引き続き町のクリーン作戦、町内ボランティア団体によるボランティア清掃の支援を継続していきます。 ●ごみ処理体制の充実 南伊勢町一般廃棄物処理基本計画(関連個別計画)に記載されたチャイルドシートや子供服、継続利用可能な家具類のリユース対策を進めるとともに、鳥羽志勢広域連合やまだエコセンターまでの運搬に関し、効率化を図ります。 ●特定空家等の適正な管理の促進 これまでの取組を継続し、特定空家等の認定および解消を進めていきます。 また、そのまま放置すれば特定空家等になるおそれのある空家を「管理不全な状態の空家等」として認定し、特定空家化の未然防止に努めていきます。 ●不法投棄防止対策の強化 これまでの取組を継続し、発生抑制および不法投棄事案への対応に努めます。 ●し尿処理体制の充実 これまでの取組を継続し、安定的な処

				<p>び不法投棄防止監視カメラの設置を行った。(設置7台、貸出3台)</p> <p>また、不法投棄事案を確知した際は、警察署と協力し、地権者立ち会いのもと、廃棄物処理法に基づき対応を進めた。</p> <p>●し尿処理体系の充実</p> <p>し尿・浄化槽汚泥等の生活排水汚泥の処理については、町内2業者により収集・運搬が行われ、鳥羽志勢広域連合鳥羽志勢クリーンセンター(鳥羽市白木町)にて、し尿・浄化槽汚泥5,253.661kℓの汚泥再生処理により熱分解、肥料化(ゆうきいっばいの生産)が行われた。また、町営きりはらコンポストセンターでは、生ごみ及びし尿・下水汚泥327.712kgの再生処理により肥料化(かえでちゃんの生産:10,473袋)を行い、農地等還元リサイクルとして希望する住民に配布した。</p>	<p>理体系を維持出来るよう努めます。</p> <p>また、汚泥再生処理により生産された肥料の利用拡大推進のため、広報等によりPRを進めます。</p>
計画策定以降の新規取組み				2-3-10	

分野	総合計画記載内容			施策の担当課	番号	令和6年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	今後の取組方針
	取組みの名称	内容	施策名				
新たな激甚化する脅威への災害対応、新型コロナウイルス感染症など	激甚化する自然災害への対応	地震、津波、台風、大雨などの自然災害からまちを守るため、土石流、洪水対策を推進し、危険箇所を解消していきます。	211災害に強いまちの確立	防災安全課	2-4-1	町総合防災訓練後、各地区で防災資機材の点検や炊き出し訓練、消火訓練を実施した。また、各地区において常備消防による心肺蘇生法やAED訓練、土のう作り、自衛隊による担架輸送訓練を実施した。	地域や消防団と連携し、訓練や災害への備えを行っていきます。
			212治山・治水・海岸の保全	建設課	2-4-2	急傾斜、河川整備などのハード対策と、危険区域指定、水位標の設置などのソフト対策を実施した。	危険箇所等の状況を把握し、県等関係機関と調整し、より事業の推進を図っていきます。
	新型コロナウイルス感染症対策	新型コロナウイルス感染症対策	各施策	まちづくり推進課	2-4-3	新型コロナウイルス感染感染症対応臨時交付金が終了し、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金に移行していることから本事業は終了する。	新型コロナウイルス感染症対応臨時交付金が終了し、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金に移行していることから、本事業は終了します。また、交付金を活用し整備した備品類の平時利用を促進しながら、再度感染症が拡大した際に備えていきます。
					2-4-4	新型コロナウイルス感染感染症対応臨時交付金事業以外の取組み	
	計画策定以降の新規取組み				2-4-5		

プロジェクト名

3. 子育て応援プロジェクト

総合計画記載内容				施策の担当課	番号	令和6年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	今後の取組方針
分野	取組みの名称	内容	施策名				
1 健 や か な 育 ち と 生 き る 力 を 育 む	保育の質の向上	<p>▷保育所での運動能力向上事業を導入し、知力・体力・英語力の向上を中心とした幼児教育を行います。</p> <p>▷保育の質の向上のため地域活性化起業人（企業人材派遣制度）等の活用に取り組みます。</p>	311子育て支援の充実	子育て・福祉課	3-1-1	<p>保育の充実を目的に、CLMシステムアドバイザーを中心とした指導者とともに保育士への相談や指導を実施した。保育の質の向上のため、CLMに関する研修を年3回実施した。町内全ての保育所で3・4・5歳児を対象に週2回忍者教室（運動教室）を実施した。町内全ての保育所で4・5歳児を対象に週2回から3回キラキラ教室（英語教室）を実施した。CLMメソッドを保育現場でスムーズに実施できるよう、保育士が県のCLMコーチとなるための研修を受講し、研修後CLMシステムアドバイザーとともに指導者として保育士への相談や指導を行った。</p>	<p>町内全ての保育所で3・4・5歳児を対象に週2回忍者教室（運動教室）を実施していきます。キラキラ教室（英語教室）も実施していきます。CLMメソッドを学んだアドバイザーを中心に、指導者とともに保育現場のCLMへ入っていただき、進め方の指導を受けながら実施していきます。CLMに関する研修も年3回実施していきます。</p>
	保育・教育環境の整備・	南勢地区における統合保育所の整備やなかよし保育園の高台移転を進めます。	311子育て支援の充実	子育て・福祉課	3-1-2	<p>なかよし園開所に向け、4月末の実施設計完了後に建築工事を行い、令和7年3月19日に完成した。令和7年3月22日には竣工式を行った。</p>	<p>なかよし園高台移転に伴い、中学校と共同し防災対策に取り組みます。</p>
		少子化に伴う教育課題の解消及び児童生徒の安心・安全の確保の観点から、南島地区小学校の統廃合及び高台移転を進めます。	313学校教育の充実と環境整備	教育委員会	3-1-3	<p>南島地区の小中学校建設に向けて、【南島地区小中学校基本構想】を基に、プロポーザルによる基本・実施設計の発注、契約及び基本設計の協議を行った。また、新校舎建設地に建っている給食施設を移設するために既存中学校校舎内を改修した。</p>	<p>令和9年4月開校を目指し、基本・実施設計業務を完了させます。新校舎建設地に建っている給食棟を解体し、年度内に本体工事を発注・契約していきます。</p>
	学校教育の充実、 書少年の健全育成	ふるさと教育の推進をします。	313学校教育の充実と環境整備	教育委員会	3-1-4	<p>ふるさと教育として南島中学校の修学旅行時に三重テラスでの『ふるさと南伊勢のPR活動』を行った。この活動も今年で2年目を迎え、生徒たちの発表内容や自作のポスターもレベルアップしており、緊張しながらも三重テラス内に誘導し、お客様との対話を通じて南伊勢町のPRを楽しんで行う姿が見られた。令和7年度からは南勢中学校においても同様の活動を開始する。</p>	<p>令和7年度からは南勢中学校においても三重テラスでの活動を開始し、両中学校でふるさと教育の集大成として活動していきます。</p>

		地域の大人や子どもが一体となって取り組めるイベントを実施します。	314地域での青少年の健全育成	教育委員会	3-1-5	『ちゃんばらごっこ』（愛洲の館）には12名、夏休み子ども工作教室（東宮資料館）には32名、お化け屋敷（町民文化会館）には209名、和太鼓体験（南島中学校）には12名の参加があった。夏休み中のイベントを多く企画したことで、親子での参加も多く、参加者の皆様にも大変好評だった。	好評だった夏休み中のイベントを主体に継続していきます。開催時期や会場などを検討し、他の時期のイベントも開催していきます。
	計画策定以降の新規取組み				3-1-6		

総合計画記載内容				施策の担当課	番号	令和6年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	今後の取組方針
分野	取組みの名称	内容	施策名				
2 町 ぐ る み で 子 育 て 世 代 を 全 力	子育て世代への支援の強化	▷出産祝金の拡充、小中学校入学祝金の支給など子育て世代への支援を強化します。	311子育て支援の充実	子育て・福祉課	3-2-1	次代を担う子どもの出産を祝福するとともに、子育てに伴う経済的負担の軽減を図ることを目的に出産祝金を支給した。（実績：25名に5,600,000円。内訳は、第1子10名、第2子9名、第3子5名、第4子1名だった）	子育てに伴う経済的負担の軽減を図るため、今後も継続していきます。
		▷特に負担の大きい乳幼児期や小中学校入学などの節目の機会や高校生の支援に特化し、下記の支援を新たに行います。 ■小中学生支援 ・給食費の無償化 ・小中学校入学祝金の支給	313学校教育の充実と環境整備	教育委員会	3-2-2	次代を担う子どもたちの健やかで生き生きとした成長を支援するとともに、子育てに伴う保護者の経済的負担の軽減を図るため、町内児童保護者に小中学校入学祝金を支給した。（実績：令和6年度は77名（小学校40名、中学校37名）に2,280,000円）。子育て世代の生活支援のため、学校給食費の無償化を行った。（全児童生徒対象）	保護者の経済的負担軽減を図るため、子育て世代の生活支援として今後も継続していきます。
		■高校生支援 ・町外への通学時間の短縮（20分短縮を目標）	223交通手段の充実	環境生活課	3-2-3	南島地区については、町営バスと三重交通バス南島線の令和5年10月ダイヤ改正で、伊勢からの最終帰宅便が14分短縮され、利便性が向上しました。名古屋大学との連携によるアンケートにおいても、満足度の高い回答が得られた。南勢地区については、いまだ最終帰宅便も五ヶ所～相賀間の運行時間が1時間弱となっているが、それらを解消すべく、交通体系の再構築に向けて調査・分析事業を実施した。また、令和7年4月から町営バス宿浦線の始発を木谷から宿浦発に延伸するための協議を整えることができた。	南島地区においては、交通空白時間帯における早朝の高等学校生徒通学利便向上のため、ライドシェア（実証実験）を実施していきます。この実証実験の取り組みが成功した場合、町内の他地域においても同様のライドシェア事業を横展開していくことも検討します。

で 応 援 す る		<p>■おむつ、ミルクなどベビー用品応援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベビーベッドの無償貸与 ・マタニティー用品や赤ちゃんのおむつ、ミルクなどの子育て用品に充てられるよう出産・子育てのための助成金を拡充 ・保育所の利用環境向上（使用済み紙おむつの 	311子育て支援の充実	子育て・福祉課	3-2-4	物価高騰生活支援給付金の子ども加算実施により、子育て世帯給付金は実施なし。 使用済み紙おむつの園内処理を実施しており、今後も継続していく。	給付金の対象者の検討を進めていきます。使用済み紙おむつの園内処理は引き続き実施し、今後も継続していきます。
	子ども政策や人口減少対策における県や関係市町等と歩調を合わせた広域的な連携や分野横断的な連携		311子育て支援の充実	子育て・福祉課	3-2-5	県のみえ子ども・子育て応援総合補助金を活用し小中学校給食費を全額無償化した。 また、補助金を活用しCLM方式による保育研修事業の研修内容の充実を図った。	県のみえ子ども・子育て応援総合補助金を活用した取り組みを継続していきます。
	計画策定以降の新規取組み		312若者定住・移住対策の推進	まちづくり推進課	3-2-6	令和7年3月現在、おしごとバンク登録者数は207件、採用決定は20件だった。	Facebookを利用されていない方からの登録については、入力作業を行い、おしごとバンクへの登録を進めていきます。
					3-2-7		

総合計画記載内容				施策の担当課	番号	令和6年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	今後の取組方針
分野	取組みの名称	内容	施策名				
3 若 者 が 住 み た	【再掲】若者定住団地の整備・		221住環境の整備	管財契約課	3-3-1	2-3-3参照	2-3-3参照
	【再掲】公園の充実・		221住環境の整備	管財契約課	3-3-2	2-3-4参照	2-3-4参照
		幼児期からの運動習慣づくりを推進します。	311子育て支援の充実	子育て・福祉課	3-3-3	町内全ての保育所で3・4・5歳児を対象に週2回忍者教室（運動教室）を実施しました。	町内全ての保育所で3・4・5歳児を対象に週2回忍者教室（運動教室）を継続していきます。
	スポーツができる環境づくり	地域における子どものスポーツ環境を充実させます	411生涯学習の充実	教育委員会	3-3-4	初夏にビーチボールバレー教室を5会場で開催し、大会も実施した。合計239名の参加があり、このうち子どもの参加は62名だった。また、秋に実施したウォークラリー大会は、10歳以下の子どもから80代まで幅広い年代の40名にご参加いただき、中には親子3世代で参加されたご家族もいた。このうち、子どもの参加は25名だった。	令和7年度以降もスポーツ推進委員と協力し、ビーチボールバレー教室や大会も引き続き行いつつ、幅広い年代の方に参加してもらえらるモルックなどのインクルーシブスポーツにも取り組んでいきます。

はい と思 える まち をつ くる			221住環境の整備	管財契約課	3-3-5	ふるさと公園、五ヶ所公園に新たに遊具が設置され、吉津地区には新規に公園が建設されました。遊具では子どもが遊び、ベンチや健康器具では高齢者が運動している。安全安心に公園等の施設を利用いただくため、業務委託により遊具の点検を実施した。老朽化の著しい遊具については、要望に応じ撤去や改修を行った。	周辺の公有財産の活用方法との方針を検討していく必要があります。公園利用者が居心地よく快適に過ごしていただける場を目指していきます。
	若者定住・移住対策の推進・		312若者定住・移住対策の推進	まちづくり推進課	3-3-6	男女が出会う場づくりとして、女性に人気のあるいちご狩りをしながら出逢い事業を行った。応募人数は男性43名、女性24名と多数の方にご応募いただいた。移住交流事業の充実としては、伊勢志摩地域の担当者とともに移住フェアに『伊勢志摩地域』として都市部イベントに参加した。新たなチャレンジを生み出す環境づくりとして、地域おこし協力隊の募集を行った。定住促進事業の充実としては、空き家バンクの登録促進や空き家有効活用、新築支援に取り組んだ。	男女が出会う場づくりにおいては、女性に人気のある『いちご狩り』を友人とともに楽しめるよう、女性参加者を増やしていきます。引き続き、伊勢志摩エリアの担当者と定期的に会議を行い、情報交換をしていきます。定住促進事業の充実として、空き家バンクの登録促進や空き家有効活用、新築支援に取り組んでいきます。
						3-3-7	

総合計画記載内容				施策の担当課	番号	令和6年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	今後の取組方針
分野	取組みの名称	内容	施策名				
4 次 世 代 を 担 う 人 材 の 育 成	学校情報教育の推進・		313学校教育の充実と環境整備	教育委員会	3-4-1	児童生徒一人一台の学習者用端末の導入は既に完了しているため、令和6年度においても計画的に各小中学校に電子黒板の整備を行い、ICTを積極的に活用できる環境づくりを進めた。	次年度以降、各中学校にも計画的に電子黒板を整備します。また、児童生徒一人一台端末の更新を令和8年度に迎えることから、国庫補助に係る状況を注視していきます。
	【再掲】ふるさと教育の推進		313学校教育の充実と環境整備	教育委員会	3-4-2	3-1-4参照	3-1-4参照
	【再掲】稼げる水産業・担い手づくりスタートアップ事業		113活気ある水産業の実現	水産農林課	3-4-3	1-1-1参照	1-1-1参照

その他の取組み	コミュニティ・スクールの充実	313学校教育の充実と環境整備	教育委員会	3-4-4	令和6年度は南伊勢町立学校運営連絡協議会が悪天候により急遽中止となったが、各学校で学期ごとに運営委員会を行い、学校での取組み状況等を報告した。今後も教員だけでなく、保護者や地域の方々とともに知恵を出し合いながら地域ぐるみの学校運営を行う。	地域住民等の学校運営への参画等を進め、学校と地域住民等との双方向の信頼関係を深めるとともに、相互に教育力を高めていくよう引き続き協議してまいります。
	【再掲】農林水産業スタートアップ支援の実施	113活気ある水産業の実現 114魅力ある農林業の実現	水産農林課	3-4-5	1-1-9、1-1-10参照	1-1-9、1-1-10参照
計画策定以降の新規取組み				3-4-6		

プロジェクト名

4. 誰もが元気なまちプロジェクト

総合計画記載内容				施策の担当課	番号	令和6年度実施結果 (取組の内容、進捗、成果、課題等)	今後の取組方針
分野	取組みの名称	内容	施策名				
1 高齢者が 元気で 輝く心身の 豊かさの 実現	高齢者の保健事業 と介護予防の一体 化	高齢者の保健事業と介護予防の一体化により、高 齢者の健康維持・フレイル予防に取り 組めます。	226社会保障の 健全な運営	税務住民課	4-1-1	一体的実施事業に取り組む専門職として、企画・ 調整を担当する専門職を兼任で保健師1名、地域を 担当する専門職を兼任で管理栄養士2名を配置し た。 後期高齢者に対するハイリスクアプローチとし て、重症化予防（糖尿病性腎症）を実施した。ま た、ポピュレーションアプローチとして、高齢者 の通いの場等において、フレイル状態の把握、フ レイル予防やオーラルフレイル等に関する健康教 育等を実施した。 また、本事業に関わる、税務住民課、高齢者支援 課とは庁内連携会議等において随時連携を取りな がら事業を実施している。	引き続き、地域、関係課、関係機関等と 随時連携を取りながら、事業を実施して いきます。
			415高齢者福祉 の充実と地域包 括ケアの推進	高齢者支援課	4-1-2	元気シニア健康教室を430回（9会場、参加者のべ 6,335人）、えるが教室を125回（13地区、参加 者のべ1,351人）、さんさん教室を86回（4地区、 参加者のべ433人）、げんき測定会を33地区（参 加者433人）、地域サロンを718回（33会場）実施 した。課題としては、各事業の参加地区等および 参加者の拡大が挙げられる。	各事業の継続および参加地区等の拡大を 促す取組みを行い、高齢者の集いの場 を広げていきます。
	健康づくり、介護 予防の更なる強化	高齢者の方が長く元気に暮らすことができるよ う、健康づくり、介護予防の更なる強化に取り組 みます。	421健康づくり の推進	子育て・福祉 課	4-1-3	えるが教室、地域サロン等は4-1-2のとおりで す。	引き続き、地域、関係機関および元気づ くりマネージャー等と随時協議・協力を 行いながら、実施していきます。
	交流の場の創出	高齢者のみならず、多くの町民の方が一緒になっ て交流できるような憩いの場などを増やし ます。	421健康づくり の推進	子育て・福祉 課	4-1-4	えるが教室、地域サロン等は4-1-2のとおりだっ た。町主催の高齢者スポーツ大会も開催した。内 訳は、グラウンドゴルフ大会2回（参加者のべ239 人）、ゲートボール大会2回（参加者のべ46人）、 フリーピンポン大会2回（参加者のべ177人）だっ た。	引き続き、地域、関係機関等と随時協 議・協力をを行いながら、実施していきま す。
	計画策定以降の新 規取組み				4-1-5		

分野	総合計画記載内容			施策の担当課	番号	令和6年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	今後の取組方針	
	取組みの名称	内容	施策名					
2 笑顔あふれる生涯現役・生涯活躍	【再掲】地域の大人や子どもが一体となって取り組めるイベントの実施・		314地域での青少年の健全育成	教育委員会	4-2-1	3-1-5参照	3-1-5参照	
	公演、演奏会等の誘致など、すべての世代が気軽に優れた芸術・文化に親しむことができる鑑賞機会の充実		411生涯学習の充実	教育委員会	4-2-2	文化祭を開催することができた。(入場者894名)。南勢会場では作品展示と芸能発表、南島会場では作品展示を行うことで、南伊勢町文化協会員などの作品やパフォーマンスをより多くの町民の方々に見ていただける機会となった。	今後も、南伊勢町文化協会として、南勢支部・南島支部で展示会場などを検討しながら継続していきます。	
	その他の取組み	生涯学習の推進		411生涯学習の充実	教育委員会	4-2-3	令和6年度の生涯学習講座は新規で7講座増となった。町共催、OB、自主サークルの合計は45講座で、昨年より2講座増となった。	高齢者だけでなく勤労者も参加しやすい生涯学習講座の実施を検討し、講座の充実を図っていきます。
		歴史に関する学習の推進		411生涯学習の充実	教育委員会	4-2-4	小学生の授業の一環である『ふるさと教育』で、東宮資料保存館および愛洲の館を活用した。愛洲の館では企画展を随時開催し、歴史にふれる機会を創出した。東宮資料保存館とその周辺では、南島中1年生17名を対象に河村瑞賢顕彰の授業などを行った。子どもから高齢者まで幅広い年代の方が歴史にふれあえる機会を創出することができた。	これまで通り、子どもから高齢者までが歴史にふれる機会を創出し、今後も継続していきます。
		文化財を大切にしようとする次世代の担い手の育成		411生涯学習の充実	教育委員会	4-2-5	小学生の授業の一環である「ふるさと教育」で、東宮資料保存館及び愛洲の館を活用した。みなみいせ図書室等の協力のもと、愛洲の館と東宮資料保存館での読み聞かせを行うことで、来館した親子に歴史にもふれる機会をつくることができた。	今後も、ふるさと教育とともに、東宮資料保存館および愛洲の館でのイベントなどを企画し、文化財に触れる機会を創出し継続していきます。
	計画策定以降の新規取組み				4-2-6			

総合計画記載内容				施策の担当課	番号	令和6年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	今後の取組方針
分野	取組みの名称	内容	施策名				
あい 3	【再掲】交流の場の創		314地域での青少年の健全育成	教育委員会	4-3-1	4-1-4参照	4-1-4参照
	【再掲】地域の大人や子どもが一体となって取り組めるイベントの実施		314地域での青少年の健全育成	教育委員会	4-3-2	3-1-5参照	3-1-5参照
	計画策定以降の新規取組み				4-3-3		

総合計画記載内容				施策の担当課	番号	令和6年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	今後の取組方針
分野	取組みの名称	内容	施策名				
4 「生活を支える医療・福祉」の充実	福祉介護人材の確保、介護職員等の離職防止、定着促進	▷更なる福祉介護人材の確保のため、高齢者や介護未経験者、外国人を含む多様な人材の参入を促進します。 ▷業務の効率化や介護職員等の負担軽減などによる離職防止や定着促進に取り組めます。 ▷南伊勢町福祉・介護サービス事業所等の介護職員等新規雇用や事業所運営に対する支援に取り組めます。	415高齢者福祉の充実と地域包括ケアの推進	高齢者支援課	4-4-1	介護職員初任者研修の無料受講は受講者8名、外国人の介護職員は現在15名、南伊勢町介護施設職員就職奨励金は新規3名、介護事業所等職員新規雇用補助金は新規3だった。課題として、介護職員として外国人を雇用するまでの流れを行政も協力して確立していく必要がある。	初任者研修の無料受講事業や就職奨励金、新規雇用補助金を継続することにより、町内事業所の就労者増加につなげていきます。行政は、町内事業所の外国人雇用の相談に対応できる体制を構築していきます。
			416障がい者の生活環境づくり	子育て・福祉課	4-4-2	南伊勢町障害福祉施設職員就職奨励金は新規2名だったが、うち1名は雇用の日から3年経過する前に退職した。福祉介護サービス事業所等職員新規雇用補助金は、1年目に1人、2年目に1人の実績だった。	福祉・介護サービス事業所等の職員新規雇用補助金および障害福祉施設職員就職奨励金を引き続き実施していきます。
			416障がい者の生活環境づくり	子育て・福祉課	4-4-3	支援センターかもめは建築工事が完成し、8月末に完成した。かえで作業所は補助金交付済で、旧穂原園の改修工事が完了した。	かえで作業所については、元作業所の財産処分および引越し作業を継続して支援していきます。
	計画策定以降の新規取組み				4-4-4		

プロジェクト名

5. 輝きをもてるまちプロジェクト

総合計画記載内容				施策の担当課	番号	令和6年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	今後の取組方針
分野	取組みの名称	内容	施策名				
1 町 内 外 の 力 を 結 集 し た ま ち づ く り	【再掲】みなみい せまつりの開催		112地域資源を 活かした観光の 魅力創造と賑わ いと交流の場の 創出	観光商工課	5-1-1	1-2-1参照	1-2-1参照
	多様な連携・協力 による、新たな取 組みへの挑戦	各種団体、NPO、企業、高校、大学等の町内外の 協力者と連携し町民の希望を実現する取組 みに挑戦します。	511私たちが主 役のまちづくり の推進	まちづくり推 進課	5-1-2	1. フィッシャーマンジャパンと『うみべのいえプ ロジェクト』に取り組む民間企業が連携し、新た にふるさとワーキングホリデーを実施した。町外 の大学生と町内の企業との連携・協力する取組 みが進んだ。 2. 同時期に町内で活動する大学生等との交流の機 会があり、相互交流からそれぞれの取り組みへの 協力やオープンチャットによる情報共有の動きが 進んだ。 3. 町民主体の取り組みも、『スケートワーク ス』、『うみべのクローゼット』、『めっちゃで の子ども食堂』、『Library Spring Festival』など 新たな動きが出てきた。これらの活動や新たな動 きを促進させるため、町制20周年に合わせ地域貢 献補助金を拡充させた新補助金の募集を開始し た。 4. スケートパークの通路改修に関して補助を実施 するなど、町民主体の取り組みへの支援を行っ た。	1. ふるさとワーキングホリデーや東大 FS、『南伊勢の扉』の取り組み、イン ターンなど町に関わる大学生が増えてき ていることから、町内の活動する団体や 副業型地域活性化起業人などとも協力し ながら、一過性にならず相互に連携協力 できる支援を進めていきます。 2. 町制20周年を一つの契機とし、新たに 活動する団体を増やしていきます。 3. 町内の各種団体での新しい動きについ て、ニーズや課題を把握し、新たな挑戦 を後押しできるよう支援していきます。

まちの魅力の情報発信		512まちのプロモーション	まちづくり推進課	5-1-3	<p>町公式SNSフォロワー数は12,326人となり、YouTubeの投稿回数を増やした。その中で、剣祖祭の動画は40万回以上の再生数となった。神前浦壁画を追加作成し、個人が描いた壁画の最長記録として日本記録となった。まちのプロモーションにつながる官民連携の取組みとして、三重テラスで南伊勢町の魅力発見&交流イベント『田舎で暮らそう』（番組上映、トークイベント、交流会）を開催し、町の魅力を町外に向けて情報発信した。</p> <p>また、地域活性化団体『むすび目Co-working』や町商工会青年部などをつくる南伊勢町文化遺産活用実行委員会が形成され、文化庁の補助金を活用したシビックプライド塾、シンポジウムが町内で開催され、シビックプライド（自分の住んでいる町への住民の誇り）の醸成につながった。</p>	<p>町内外でまちの魅力の醸成や情報発信の動きが出てきているため、『田舎で暮らそう』体験ツアー、生涯学習講座『南伊勢町シビックプライド塾』など、各団体等が実施するまちのプロモーションの取組みに対し協力をし、住民のまちへの誇りの醸成促進や、移住や関係人口の創出につながるまちの魅力の発信を進めていきます。</p> <p>また、引き続き、町内、町外それぞれのニーズに合った、魅力的で分かりやすい情報発信を心がけ取り組んでいきます。神前浦壁画の一部修繕を実施予定です。</p>
計画策定以降の新規取組み				5-1-4		

総合計画記載内容				施策の担当課	番号	令和6年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	今後の取組方針
分野	取組みの名称	内容	施策名				
2 私たちの夢や希望	デジタル技術の活用	デジタル技術などを活用した町民の利便性向上のための実証的取組みや基盤整備、人材の育成・確保・庁内DX、テレワークの推進などについて国の支援制度なども活用しながら取り組めます。	514総合計画の実現と時代やニーズに応じた取組みの加速	まちづくり推進課	5-2-1	DX推進に関して引き続き情報収集に努めた。高齢者スマホ教室を実施し、住民生活の利便を向上させた。	職員端末とOSの更新を行います。業務効率とスキル向上のため、生成AIの導入を検討します。引き続き高齢者向けスマホ教室を実施し、リモートや会議用端末の有効活用を検討していきます。
			521効果的で信頼される自治体経営	総務課	5-2-2	継続して整備したwif環境を活用している。	業務のデジタル化を推進します。

を 実 現 す る 未 来 へ の 挑 戦	総合計画の実現と時代やニーズに応じた取組みの加速	(デジタル技術などを活用し、町民の利便性向上のため私たちの夢や希望を実現する未来に向けた実証的取組みを取り入れていきます。)	514総合計画の実現と時代やニーズに応じた取組みの加速	まちづくり推進課	5-2-3	<ol style="list-style-type: none"> 1. 古和浦診療所と町立南伊勢病院をつないでのオンライン診療を実施した。 2. IoT海洋モニタリングシステムを拡充した。 3. 自動運転バス、ライドシェアについては、他自治体の取組みをヒアリングするなど、現状分析や課題の分析に取り組んだ。 4. 空モビリティについても県の勉強会に参加し、情報収集に取り組んだ。 5. カーシェアなどのシェアリングエコノミーに関してはニーズはあり情報収集も行ったが、一定の経済活動が行われる場所でないとな採算性が取れないといった課題もあり、検討中のままになっている。 6. 陸上養殖についても企業誘致に取り組んだ。 	引き続き情報収集をしながら、導入の可能性について検討していきます。 先端技術に関しては、デジタル技術に限らず陸上養殖やバイオ技術などもあります。海洋資源が豊富な当町の強みを活かした技術の導入を検討していきます。
	計画策定以降の新規取組み				5-2-4		

総合計画記載内容				施策の担当課	番号	令和6年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	今後の取組方針
分野	取組みの名称	内容	施策名				
輝 3 き 未 を 来 も へ て バ ト	総合計画の実現やまちづくりのためのアイデアをともに考える場づくり	(まちづくりのためのアイデアをともに考える場をつくることで未来へバトンを渡せる輝きをもてる社会づくりにつなげます。)	514総合計画の実現と時代やニーズに応じた取組みの加速	まちづくり推進課	5-3-1	<ol style="list-style-type: none"> 1. まちづくりのためのアイデアをともに考える場づくりとして、南伊勢町総合計画・総合戦略推進会議を開催した。 2. 町政懇談会を開催し、住民の生の声を聞き、対応を行った。 3. ふるさとフォーラム（中学生）において、役場の課長職と中学生との政策提言のためのワークショップや発表が行われた。 4. ふるさとワーキングホリデーの最終発表には、事業者や町長、副町長はじめ役場関係者も参加した。 5. 上記のように様々な考える場づくりができてきているため、総合計画など政策に反映させる仕組みを検討する必要がある。 	総合計画の改訂や今後の南伊勢町総合計画・総合戦略推進会議において、中学生の政策提言の内容や南伊勢町に関わる町内外の若者の発想も情報共有し、新たなまちづくりのためのアイデアとして活かしていきます。

社 会 を づ 渡 く せ り る	脱炭素社会実現に向けた取組み	公用車における電気自動車の導入など二酸化炭素排出削減の取組みや新エネルギー普及促進、二酸化炭素吸収固定化の取組みを推進します。	513自然環境の保全と脱炭素・循環型社会の形成	環境生活課	5-3-2	<p>公用車における電気自動車の導入については、車両更新の際には車両用途を考慮して適否を確認しつつ、EV導入を検討します。</p> <p>二酸化炭素排出削減・新エネルギーの普及促進の取組みについては、関連計画である地球温暖化対策計画との整合性を図りつつ推進していきます。二酸化炭素の吸収固定化については、ブルー、グリーン、ブラウンなどの生態系CCSを最大限活用するため、第一次産業の活性化を併せて検討する必要があるため、関係課とともに進めていきます。</p>	<p>公用車における電気自動車の導入については、車両更新の際には車両用途を考慮して適否を確認しつつ、EV導入を検討します。二酸化炭素排出削減・新エネルギーの普及促進の取組みについては、関連計画である地球温暖化対策計画との整合性を図りつつ推進していきます。二酸化炭素の吸収固定化については、ブルー、グリーン、ブラウンなどの生態系CCSを最大限活用するため、第一次産業の活性化を併せて検討する必要があるため、関係課とともに進めていきます。</p>
	計画策定以降の新規取組み				5-3-3		

総合計画記載内容				施策の担当課	番号	令和6年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	今後の取組方針
分野	取組みの名称	内容	施策名				
続 可 能 な ま ち の づ 理 念 を 取 り 入 れ た 持	SDGsの理念を取り入れた事業の実施	(SDGsの理念を、各施策に反映し、誰一人取り残さない持続可能なまちをつくれます。)	(全施策)	各課	5-4-1	<p>各施策においてSDGsの理念を取り入れ取組みを実施している。</p> <p>別紙 調査票④参照</p> <p>課経営方針において、SDGsの達成のための事業を明記し、取組みを行った。</p>	<p>SDGsの設定と達成について、課経営方針に記載し、認識を共有しながら取組みを進めます。また、国際機関や企業では、SDGsの次なる目標として、みんなで持続可能なウェルビーイング（一人ひとりが心身ともに満たされた状態）を目指すSWG（Sustainable Well-being Goals）が提唱され始めていることから、このことも踏まえつつ後期基本計画の策定を進めます。</p>
	計画策定以降の新規取組み					5-4-2	

プロジェクト名

6. 買い物不便・困難対策プロジェクト

総合計画記載内容				施策の担当課	番号	令和6年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	今後の取組方針
分野	取組みの名称	内容	施策名				
1 地域の商店、店舗の維持・充実対策の実施	地元商店や移動販売の経営継続のための利用促進策や支援策の充実		111商工業持続化と雇用の促進	観光商工課	6-1-1	経営向上補助金制度を活用し支援策を実施した。令和6年度の補助実績は4件、594千円だった。	継続的に支援を実施していきます。
	他の業種との兼務や共同店舗化、地域の人が集まる仕組みづくりなど店舗の採算性確保化対策		111商工業持続化と雇用の促進	観光商工課	6-1-2	商工事業における採算性は商工事業者が行うべきであるため、買い物困難対策として商工事業者が採算性を問わず実施させる場合、どの範囲で買い物困難対策としてどの程度の店舗が必要となるか明確でないことも検討課題となっている。	商工事業者に対する施策とするのは困難です。そのため、他施策も含め買い物困難対策の視点から支援策の検討を進めていきます。
			511私たちが主役のまちづくりの推進	まちづくり推進課	6-1-3	1. 令和6年度から『南伊勢町買い物支援・困難者対策補助金』を新設した。3事業者から相談があり、うち1事業者が申請してした。 2. 令和5年度には食料品店の閉店が多かった一方、移動販売に参入する業者も増えてきた。 3. 『南伊勢町買い物支援・困難者対策補助金』が活用できる国補助金についても、国の補助要綱の変更により利用できないなどの課題もあった。	『南伊勢町買い物支援・困難者対策補助金』が活用できる国補助金について、国の補正予算により新たに新設された補助金もあることから、対象の補助金として新たに加えていきます。他の業種との兼務や共同店舗化、地域の人が集まる仕組みづくりなど様々な手法が考えられますが、地域の意向や思いが優先されるため、まずは地域運営組織の形成促進を優先し、出てきた考えに対し行政が支援や連携を行っていきます。
	無人決済店舗化な		111商工業持続化と雇用の促進	観光商工課	6-1-4	経営向上補助金の無人決済店舗等に対する申請や相談はなかった。	無人決済店舗等に対する支援については、経営向上補助金が該当しています。支援を手厚くするのであれば補助金の増額検討も必要であるものの、現状では当該事業に活用する事業者もないため、引き続き動向を注視していきます。

ど省人化対策の調査検討		511私たちが主役のまちづくりの推進	まちづくり推進課	6-1-5	ぎょうざの販売や牡蠣の販売などで無人店舗が出てきている。 令和6年度から新設した「南伊勢町買い物支援・困難者対策補助金」において、自動精算機等の活用が可能な中小企業省力化投資補助金などの活用も可能とした。ただし、町内商店としては他の部分での補助金の活用を希望しているため実用には至っていない。	無人決済店舗については引き続き情報収集を進める一方、自動精算機等の省力化を希望する店舗には引き続き『南伊勢町買い物支援・困難者対策補助金』の活用を促進していきます。
配達や商店の情報、生活支援の情報を伝える仕組みの実施	(配達や商店の情報、生活支援の情報をまとめ、商品・サービスを利用しやすくします。)	111商工業持続化と雇用の促進	観光商工課	6-1-6	商工会にて集合広告事業を実施し、事業費を町が補助した。	コロナ禍において伊勢市が市内店舗のテイクアウト情報等を発信していました。平時において官公庁が実施すべきか検討していきます。
計画策定以降の新規取組み				6-1-7		

総合計画記載内容				施策の担当課	番号	令和6年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	今後の取組方針
分野	取組みの名称	内容	施策名				
2 商店へのアクセスの向上	町内外を含めた公共交通網の更なる利便性の向上	(町営バス・デマンドバスの利便性向上はもとより、集落内での有償運送や町外へのアクセス向上など各集落の状況に応じた交通アクセス対策に取り組めます。)	223交通手段の充実	環境生活課	6-2-1	切原中津浜実証モデル事業を令和5年度より継続実施してきたが、利用者が伸び悩み本格運行には至らなかった要因としては、病院バスやデマンドバス、町営バスなどをコメリ・ぎゅーとらまでの運行が全ての公共交通で実施されていることから、これらの交通機関の混雑緩和には寄与したものの、切原中津浜実証モデルによる商店へのアクセスを目的とした需要に至ることはなかった。この実証運行で得たデータを基にして商店へのアクセス向上を含めた地域公共交通の再構築の検討を進めていく。	移動手段確保について実証実験と調査を行い、路線再編に着手していきます。町全体の交通調査も併せて行い、分析し、交通体系の再構築に取り組んでいきます。利用が減少している地域間幹線バス(三交：五ヶ所線、宿浦線)や交通空白時間帯により不便が生じている区域については、地域の交通事業者とともに接続強化を行い、必要に応じて近隣市町と連携し、町域を超えた交通事業を展開していきます。
	出張販売会(出張商店街)など地域の商店による配達促進	(移動販売や地域の商店の出張販売など、地域の商店による商店空白地への出張販売を促進します。)	111商工業持続化と雇用の促進	観光商工課	6-2-2	商工会に対して補助を実施し移動販売を過去に実施した経緯があるが、注文を受けた上でお届けする仕組みであったが、ニーズがなく事業を廃止した。	店舗にて商品を選びたいという要望があったため、移動販売のニーズがなかったものと考えられます。移動販売を検討する上では、商品を仕入れ陳列することができる販売体制が必要であり、経営体制も検討していく必要があります。

他の移動との重ね掛けによる移動の効率化の検討	(送迎バスや事業所車両の空席などを活用した他の移動との重ね掛けによる移動の可能性を検討します。)	223交通手段の充実	環境生活課	6-2-3	令和6年度においては、令和5年度で実施した事業のデータ整理として、受託事業者より乗降人数の把握や降車場所から利用者需要の高い施設の把握に努めた。	令和6年度に道路運送法が改正され、これまでのような人員・車両の活用が困難な状態となってきています。これを踏まえ、従来の交通事業者だけでなく地域の交通事業者との連携により、経済性に配慮したライドシェア等の移動の効率化を検討していく必要があります。
計画策定以降の新規取組み				6-2-4		

総合計画記載内容				施策の担当課	番号	令和6年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	今後の取組方針
分野	取組みの名称	内容	施策名				
3 買 い 物 に 行 け な い 人 へ の ソ フ ト	地域の既存組織を活用した配食・配達支援や送迎に関する仕組みの構築	(外出困難な人に向けて第三者が支える仕組みとして、地域の既存組織・事業者等を活用した配食・配達や送迎の仕組みを検討します。)	415高齢者福祉の充実と地域包括ケアの推進	高齢者支援課	6-3-1	配食サービス利用者は38名(南勢21名、南島17名)、事業者は4事業者だった。課題として、配達作業の軽減策を実施し、配食サービス事業者の維持拡大を行う必要がある。	現在、南勢地区は社会福祉協議会が配達のみ的人员を確保して行っていますが、今後の配達体制や新規事業者の確保について検討していく必要があります。
			514総合計画の実現と時代やニーズに応じた取り組みの加速	まちづくり推進課	6-3-2	宿田曾地域において、地域運営組織と集落支援員制度の活用による高齢者の生活支援や自家用有償運送による送迎を実施した。地域の既存組織や事業者等をいかに活用しながら、外出困難な方への支援制度を充実させていくか、町の実情に合った仕組みを検討していく必要がある。	地域運営組織の形成支援を通じ、各地域の実情に応じた仕組みの構築に向け支援していきます。実施にあたっては、地域運営組織に関する組織運営の助成(特別交付税措置あり)や集落支援員のさらなる活用、有償ボランティア制度の利用、国の補助金の活用など、様々な支援制度を組み合わせることで事業実施支援を進めていきます。
	金融機関におけるATM廃止対策としての電子マネーの活用推進		111商工業持続化と雇用の促進	観光商工課	6-3-3	プレミアム付き商品券事業については、QRコードを用いた電子決済など電子的な活用を検討したが、令和6年度は見送った。	まちづくり推進課が実施する高齢者向けスマホ教室などと連携するなど、幅広い年齢層の町民に対して電子決済などの理解の醸成を検討していきます。
			514総合計画の実現と時代やニーズに応じた取り組みの加速	まちづくり推進課	6-3-4	高齢者対象のスマホ操作教室を実施しました。22コマ実施し、延べ45名の方にご参加いただきました。	高齢者スマホ操作教室については、実施地区を変更するなど、より多くの方が参加できる工夫を検討し、引き続き実施していきます。

対策	商店空白地におけるインターネット通販の利用促進と操作支援の推進	511私たちが主役のまちづくりの推進	まちづくり推進課	6-3-5	令和6年度はスマホ教室は実施したが、地域でのインターネット通販の利用促進の事業は団体の都合もあり出来なかった。	令和7年度も宿田曾地域で実証の継続を依頼するとともに、地域運営組織の形成を希望する地区に参考事例として紹介していきます。
		514総合計画の実現と時代やニーズに応じた取組みの加速	まちづくり推進課	6-3-6	高齢者対象のスマホ操作教室を実施しました。22コマ実施し、延べ45名の方にご参加いただきました。	高齢者スマホ操作教室については、実施地区を変更するなど、より多くの方が参加できる工夫を検討し、引き続き実施していきます。
	計画策定以降の新規取組み			6-3-7		

総合計画記載内容				施策の担当課	番号	令和6年度実施結果 (取組みの内容、進捗、成果、課題等)	今後の取組方針
分野	取組みの名称	内容	施策名				
難者対策に向けた検討体制	買い物弱者のニーズ把握と地域内で買い物支援をしてくれる互助体制づくり	(高齢者、障がい者等の買い物に関する困り感やニーズの把握に取り組めます。) (買い物困難対策に向けた役場の推進体制の構築と、地域性を踏まえた買い物困難者対策に向けた検討体制づくりに取り組めます。)	414支え合う地域福祉の推進	子育て・福祉課	6-4-1	令和6年度は計画策定作業部会、自立支援協議会でアンケート結果について、協議しました。 ヘルパーなどの介護人材不足の課題があります。	買い物だけでなく、障害者の移動の支援について、既存のサービスも含めて検討していく。
						計画策定以降の新規取組み	

調査票④ 第4次南伊勢町総合計画SDGs項目実施状況調査

施策番号	施策名	施策の 主担当課	該当する内容に○をしてください。 (複数選択可)		①の場合 検討している内容	②の場合 既に対応・アクションを行っている内容	備考 (該当するSDGsゴール)
			①SDGsについて 対応・アクションを検討している	②SDGsについて 既に対応・アクションを行っている			
111	商工業の持続化と雇用の促進	観光商工課		○		ふるさと納税返礼品の開発や南伊勢ブランドの認定によって、地元産品の国内外への販路拡大に寄与している。これにより町産材の持続可能な循環を生み出している。	8.働きがいも経済成長も 9.産業の技術革新の基盤をつくろう
112	地域資源を活かした観光の魅力創造と賑わいと交流の場の創出	観光商工課		○		サイクルイベントの開催など、エコツーリズムの推進に則った持続可能な事業を実施。	9.産業の技術革新の基盤をつくろう
113	活気ある水産業の実現	水産農林課		○		海洋資源（藻場）保全活動、未利用魚等の活用による食品ロスの削減。	1.飢餓をゼロに 12.つくる責任つかう責任 13.海の豊かさを守ろう
114	魅力ある農林業の実現	水産農林課	○		樹園地団地の整備により、省力化等生産者の負担軽減を図り継続した生産を目指す。		8.働きがいも経済成長も 9.産業の技術革新の基盤をつくろう
211	災害に強いまちの確立	防災安全課		○		防災研修や防災イベントを開催し防災への意識向上を図っています。	11.住み続けられるまちづくりを 13.気候変動に具体的な対策を 17.パートナーシップで目標を達成しよう
212	治山・治水・海岸の保全	建設課		○		安心・安全に住み続けられる町にするために、大雨などの自然災害に強い施設整備を行っています。	11.住み続けられるまちづくりを 13.気候変動に具体的な対策を
213	水道の安定供給	上下水道課		○		水道の安定供給のため老朽管更新・連絡管整備・基幹施設更新・緊急時給水拠点確保等事業により水道施設の整備に努めている	6.安全な水とトイレを世界中に 11.住み続けられるまちづくりを
214	交通と生活の安全安心対策	防災安全課		○		関係機関と連携し防犯意識の高揚と、交通安全意識の啓発活動を行っています。	16.平和と公平を全ての人に

施策番号	施策名	施策の 主担当課	該当する内容に○をしてください。 (複数選択可)		①の場合 検討している内容	②の場合 既に対応・アクションを行っている内容	備考 (該当するSDGsゴール)
			①SDGsについて 対応・アクションを検討している	②SDGsについて 既に対応・アクションを行っている			
221	住環境の整備	管財契約課		○		・既設の町営住宅について、需要バランスを踏まえながらストック総合改善事業を実施します。 ・公園整備 ・空き家バンク利用促進 ・若者用住環境の改善の促進	3.全ての人に健康と福祉を 11.住み続けられるまちづくりを
222	道路基盤の整備	建設課		○		産業や経済活動の基盤となる道路の整備及び維持管理を行っています。	11.住み続けられるまちづくりを
223	交通手段の充実	環境生活課	○	○	安価な交通アクセス確保	安価な交通アクセス確保	11.住み続けられるまちづくりを
224	生活排水対策の推進 (持続可能な生活排水対策)	上下水道課		○		水洗化促進補助金を交付し下水道への加入促進を行い、水洗化率の向上に努めている。	6.安全な水とトイレを世界中に 11.住み続けられるまちづくりを
225	生活環境の保全と環境美化	環境生活課	○	○	チャイルドシートやベビーカー、子供服、家具類等、廃棄物として子供の成長に併せ住民の方から廃棄物として排出されたものを、そのまま使用できるもの、少し手を加えることにより引き続き使用できるものは、清掃や簡易修繕を施し、廃棄物として処理せず、リユースする取り組みを開始した。 (目標11.12.13)	男女共同参画基本計画に基づき、地域づくりの場へ性別や年齢にかかわらず多様な人材の参画を促している。 また、人権施策基本方針に基づき、外国人や性的マイノリティ等、様々な人権課題に対しての正しい認識の啓発や学習体制の充実化を図っている。(目標4.5.8.10.16.17)	11住み続けられるまちづくりを 12つくる責任つかう責任 13気候変動に具体的な対策を 14海の豊かさを守ろう 15陸の豊かさを守ろう
226	社会保障の健全な運営	税務住民課		○		特定健康診査や人間ドックの受診勧奨	3.全ての人に健康と福祉を
311	子育て支援の充実	子育て・福祉課		○		保育所の業務ICT化により業務の効率化を図り保育の質の向上および安全管理体制を整えています。	3.全ての人に健康と福祉を 4.質の高い教育をみんなに

施策番号	施策名	施策の 主担当課	該当する内容に○をしてください。（複数選択可）		①の場合 検討している内容	②の場合 既に対応・アクションを行っている内容	備考 （該当するSDGsゴール）
			①SDGsについて 対応・アクションを検討している	②SDGsについて 既に対応・アクションを行っている			
312	若者定住・移住対策の推進	まちづくり推進課		○		空家バンクの登録者を増やし、空き家を活用した定住・移住者のための専属の移住コーディネーターとともに移住相談を行っています。住まいと仕事をセットに相談できる体制を整えています。	8.働きがいも経済成長も 11.住み続けられるまちづくりを
313	学校教育の充実と環境整備	教育委員会		○		ICT等の活用など情報教育の整備行っています。地域と学校との繋がりを深め、郷土愛の醸成に努めています。	4.質の高い教育をみんなに 11.住み続けられるまちづくりを 17.パートナーシップで目標を達成しよう
314	地域での青少年の健全育成	教育委員会		○		青少年育成町民会議の諸行事	4.質の高い教育をみんなに 16.平和と公正をみんなに 17.パートナーシップで目標を達成しよう
313	生涯学習の充実	教育委員会		○		生涯学習講座の開設	4.質の高い教育をみんなに 17.パートナーシップで目標を達成しよう
412	芸術文化の振興と 伝統文化の継承	教育委員会		○		・文化協会の文化祭開催 ・文化財保存補助金・資料館の運営	4.質の高い教育をみんなに
413	多様な人材の活躍	環境生活課	○	○	働き方や家庭内での固定的な性別役割分担を見直すことで、男女が共に家庭と仕事を両立し、充実した生活が図れるワーク・ライフ・バランスを保てるよう、男性の育児参加の推進等、意識啓発の実施を検討中。（目標5.8.17）	男女共同参画基本計画に基づき、地域づくりの場へ性別や年齢にかかわらず多様な人材の参画を促している。 また、人権施策基本方針に基づき、外国人や性的マイノリティ等、様々な人権課題に対しての正しい認識の啓発や学習体制の充実化を図っている。（目標4.5.8.10.16.17）	4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 8 働きがいも経済成長も 10 人や国の不平等をなくそう 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナーシップで目標を達成しよう
414	支えあう地域福祉の推進	子育て・福祉課		○		生活困窮者自立相談支援事業について、令和5年8月から社協に委託している。	1.貧困をなくそう 2.飢餓をゼロに 3.全ての人に健康と福祉を 17 パートナーシップで目標を達成しよう

施策番号	施策名	施策の 主担当課	該当する内容に○をしてください。 (複数選択可)		①の場合 検討している内容	②の場合 既に対応・アクションを行っている内容	備考 (該当するSDGsゴール)
			①SDGsについて 対応・アクションを検討している	②SDGsについて 既に対応・アクションを行っている			
415	高齢者福祉の充実と 地域包括ケアの推進	高齢者支援課		○		高齢者の活動支援事業（高齢になっても元気で自分らしい暮らしを続けていただくための支援） 介護サービス等の充実事業（介護事業者の持続化と人材不足解消への支援） 介護予防・生活支援サービスの充実事業（高齢者の居場所づくりや元気づくりを支援、助けを必要とする高齢者の日常生活への支援） 地域包括ケアシステムの深化事業（高齢者とその関係者の生活上の困り事への対応、要介護状態となった場合でも地域で自立した日常生活を営んでいただくための支援）	3.全ての人に健康と福祉を 11.住み続けられるまちづくりを
416	障がい者の生活環境づくり	子育て・福祉課		○		就労継続支援B型事業所の移転事業、支援を行っている。	1.貧困をなくそう 3.全ての人に健康と福祉を 8.働きがいも経済成長も 11.住み続けられるまちづくりを
421	健康づくりの推進	子育て・福祉課		○		あらゆる世代の町民が住み慣れた地域で健康的な生活が確保できることを推進している。	3.全ての人に健康と福祉を 11.住み続けられるまちづくりを
511	私たちが主役の まちづくりの推進	まちづくり推進課	○	○	町内外との更なる多様な連携協力による新たな取り組みへのチャレンジとチャレンジしやすい仕組みづくり（目標10.11.16.17）	地域づくり支援、地域貢献促進を通じ、住民参加型のまちづくり（目標16）、パートナーシップ（目標17）、持続可能なまちづくり（目標11）を推進 議会と各種団体との意見交換（目標10） 町内外との更なる多様な連携協力による新たな取り組みへのチャレンジとチャレンジしやすい仕組みづくり（目標10.11.16.17）	10 人や国の不平等をなくそう 11.住み続けられるまちづくりを 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナーシップで目標を達成しよう
512	まちのプロモーション	まちづくり推進課		○		壁画披露式を開催し、参加者・来場者が一体となってまちのプロモーションを推進した（目標17）	17 パートナーシップで目標を達成しよう

施策番号	施策名	施策の 主担当課	該当する内容に○をしてください。 (複数選択可)		①の場合 検討している内容	②の場合 既に対応・アクションを行っている内容	備考 (該当するSDGsゴール)
			①SDGsについて 対応・アクションを検討している	②SDGsについて 既に対応・アクションを行っている			
513	自然環境の保全と 脱炭素・循環型社会の形成	環境生活課		○		クールビズ・ウォームビズの推進、住宅の太陽光発電等の導入を推進することで省エネ・再エネ推進を進めています。 再生紙等のリサイクル製品の活用を推進することで、責任ある資源活用を推進しています。 電気自動車用急速充電器の公共施設設置により二酸化炭素排出量削減対策を進めています。 ブルーカーボンによる二酸化炭素の吸収固定化対策を実施することにより気候変動対策と藻場保全を併せた気候変動対策を実施しています。 (目標7.12.13.14)	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 12 つくる責任つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう
514	総合計画の実現と 時代やニーズに応じた 取り組みの加速	まちづくり推進課	○	○	近隣自治体との連携した住民サービスの向上策の検討(デジタル関連他) (目標11.17)	町政懇談会を通じ町民意見の聞き取りを実施(目標10) 総合計画の進捗管理、総合計画・総合戦略推進会議による更なるアイデアの検討によりSDGs項目を推進(各目標) 自治体交流の実施(酒田市等) (目標17)	8.働きがいも経済成長も 9.産業と技術革新の基盤を作ろう 10.人や国の不平等をなくそう 11.住み続けられるまちづくりを 12.つくる責任使う責任 17 パートナースhipで目標を達成しよう
521	効果的で信頼される自治体経営	総務課		○		町内4箇所の出張所を廃止し、9箇所の郵便局で行政サービスを実施した。(目標17)	17 パートナースhipで目標を達成しよう
522	健全な財政運営	総務課		○		中期財政計画を策定し、持続可能なまちづくりが可能となるよう将来見通しを立てている。(目標11)	11.住み続けられるまちづくりを